

一般質問

20名の議員が聞いた!

6月議会では、20名の議員が質問に立ちました。全質問項目は下記のとおりです。5ページからの本文は、質問をした議員本人が要約して執筆しています。



11p 宮路敏裕 議員 (日本共産党)

1. 旧燕工業高校跡地利活用提案事業について
2. 燕市子ども・子育て支援事業について

12p 小林由明 議員 (輝翔会)

1. 住民とともに取り組む、情報の活用について
2. 防災について
3. 都市形成について

12p 大岩 勉 議員 (スワロークラブ)

1. 教育振興対策について
2. 燕市における空き家対策について
3. 選挙管理委員会の業務について

13p タナカ・キン 議員 (流水舎)

1. 観光振興について

13p 山崎雅男 議員 (輝翔会)

1. 交通安全対策について
2. 公共施設(避難所・長寿まつり等)の洋式トイレ整備について
3. 安全・安心なまちづくり(防犯カメラ設置のあり方について)
4. 燕市優良工事表彰について

14p 中山真二 議員 (輝翔会)

1. 都市整備について
2. 県央基幹病院について

14p 長井由喜雄 議員 (日本共産党)

1. 地域の防犯について
2. 子ども医療費助成について
3. 国民健康保険について

8p 大原伊一 議員 (輝翔会)

1. 公共施設等総合管理計画について
2. 本市におけるスポーツ少年団の実態について
3. 農業問題について

8p 堀 勝重 議員 (輝翔会)

1. 安全安心なまちづくりについて
2. 職員の時間外勤務について

9p 土田 昇 議員 (日本共産党)

1. 市長の政治姿勢について

9p 白井丈雄 議員 (輝翔会)

1. 税務行政について
2. 農林行政について
3. 子育て行政について

10p 山崎光男 議員 (流水舎)

1. 燕市合併 10周年を記念した様々なPRについて
2. 選挙権年齢「18歳以上」への引き下げについて

10p 埜 豊 議員 (スワロークラブ)

1. 市長の政治姿勢について
2. 戸隠神社祭礼の無形文化財登録について
3. 産業政策について

11p 齋藤信行 議員 (大河の会)

1. 一日市長について
2. 地方自治について
3. 農業問題について

5p 渡邊雄三 議員 (公明党)

1. 市民協働の安心・安全なまちづくりについて
2. 高齢者福祉について
3. 地方創生について

5p 柳川 隆 議員 (市民クラブ)

1. 教育行政について
2. 地域産業ブランド化推進事業について

6p 山本知克 議員 (大河の会)

1. 認知症対策について
2. 見守りについて
3. 健康意識向上のために
4. 予算執行のお知らせについて

6p 樋浦恵美 議員 (公明党)

1. 女性の社会進出について
2. 子育て環境の整備について
3. 公共施設の整備について
4. 学校教育における「がん教育」の推進について

7p 藤井秀人 議員 (市民クラブ)

1. 防災について
2. 生活環境問題について

7p 吉田勝利 議員 (輝翔会)

1. 異常気象と防災行政について
2. 防災と防犯について

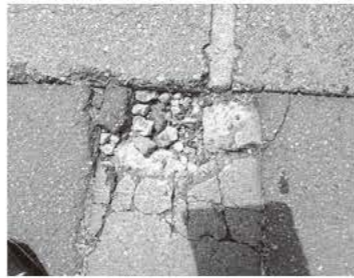
問 地域の道路・橋梁などさまざまな課題について、スマートフォン等の通信機器を使って、市民から写真付きレポートなどを投稿してもらい、それを分析することで解決に向けた市民と行政の協働の仕組みづくりを考えられないか。

答 道路や橋梁などは電話での対応が基本だが、ホームページの簡単申請のメールからも増えており、これに画像データも投稿・受信できるように準備したい。

問 これまでに市民が道路などの管理不全だけがをした事例はあるのか。また、その対策はどのように行ったのか。

答 平成25年3月、大川津の市道の歩道を通行中に女兒が老朽化した側溝でけがをした。措置を講じるとともに謝罪し、危険なものは取りかえを行った。

問 国はオレンジプランで認知症ケアパスの作成・普及を求めているが、どう取り組んでいるのか。



陥没している市道

答 多職種での地域ケア推進会議の検討が必要であり、27年度中のできる限り早い時期に示したい。

問 公明党が強く主張し、実現したプレミアム付き商品券の規模と実施内容、また商品券の特色や違いはあるのか。

答 燕商工会議所・吉田・分水商工会で7月から販売予定。地元の商店のみで使用できるものと、スーパーなどでも使用できるものをセットで販売する。



渡邊雄三 議員(公明党)

通信機器の活用で安全なまちづくりを

イッパンシツモンデ・ギンガ・グット・チカクナル

教育行政とマイカップ運動について



柳川 隆 議員(市民クラブ)

問 英城県常総市での取り組みである「常総ほっとサターデー教室」は、学習のつまずきを補う目的で小学4・5・6年生の2割を対象として、1年で1割の児童が活用している。今年度は残りの1割の児童も利用してもらえるようにしたいと思うが、燕市でも同様の取り組みをしようか。

答 土曜の教育活動としては、長善館学習塾、Jack & Betty教室などの事業を実施しており、児童生徒の興味、関心に応じた学習機会を提供している。市教育委員会として

問 は、今後も児童生徒の学習の定着状況や現在行っている市の事業との整合性を総合的に考慮しながら、補習的な学習指導のあり方について研究していきたいと考えている。

答 まずは市役所職員に対し、マイカップを使用した積極的な取り組みへの協力をお願いし、金属酒器を使った乾杯が多くなってきたところである。5月1日付で燕商工会議所とマイカップ運動に係る委託契約をした。また、チラシ・ポスターのぼり旗の作成や協力飲食店をPRするためのマップの作成、SNSを活用した金属酒器での飲み会を紹介したい。



SNS:ソーシャル・ネットワークキングダム
サービスの略人と人のつながりを促進
サポート機能のついた型紙のウェブサイ
L: Facebook & Twitter などがある。

防災体制の状況について

問 7月5日実施の 燕市総合防災訓練の様子

答 県平均が81.4%、国が80%、燕市が71.5%で国・県よりも低い状況である。

問 近年の予測もでない災害の多さを見るに、防災体制づくりがいかに重要か思い知らされる。自主防災組織自体の取り組みは、平成16年に発生した中越地震がきっかけとなり、組織の必要性を認識した出来事となった。震災当時、県の組織率は全国44位の23.7%だった。そこで燕市の現在の組織率は何%か伺う。

答 先進的な事例を統合的に調査・研究した中で対応していきたい。

問 鳥獣害の被害実態を伺う。

答 タヌキやハクビシンなどによる住宅被害が3件、その他2件の計5件だった。

問 ハクビシンなどが生活環境に影響を与えている状況の中で、個体の調査が必要であると考えているかがか。

答 鳥獣害の被害実態を伺う。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

異常気象に対応する防災と防犯訓練を

吉田勝利 議員(輝翔会)

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

答 全体で25自治会に2497個を配布し、床下浸水の未使用の自治会が多いとの回答があった。

問 異常気象とは、過去30年以上にわたり観測されなかった、まれな気象のことです。特に豪雨被害のすさまじさは、いつこの地に起こるかもしれない、よそ事と思えない。水害の面での防災行政が大変大事に思うが、市が取り組んだ平成24年度の「土のう」配布のその後について伺いたい。

今後の公共施設のあり方について



大原伊一 議員(輝翔会)

問 公共施設等総合管理計画にある施設の統廃合と、受益者負担について伺う。

答 公共施設等総合管理計画基本方針では、将来の更新費用の推計で大幅に不足していることが明らかとなり、全ての公共施設をこのままの状態維持・管理・更新を続けることは、極めて厳しい状況である。今後、公共施設の改廃や統廃合を進め、受益者負担の見直しもしっかりと取り組んでいきたい。

民の生命・財産を守ることであるから、公共施設の設備点検は、メーカー点検を。
答 設備の長寿命化や万が一の故障対応にもメーカー点検が重要であるが、経費的に厳しい。しかし、重要機器については今後検討していきたい。
問 公共施設の長寿命化に対する財政見直しについて伺う。
答 公共施設等総合管理計画の各論の策定を進めている。年度末までには、財政見直しを示したい。
問 本市農業の実態と規模拡大型兼業農家を進める必要性は。
答 25年産稲作の10アール当たりの販売額は、12万9400円。生産費は13万8500円で、26年産は、もっと厳しいと推測している。意欲ある兼業農家は重要な担い手であることから、地域の担い手として農地集積や国県の補助事業導入など支援していきたい。



6月からリニューアルした 燕庁舎

燕市の議員の兼業禁止について



土田 昇 議員(日本共産党)

問 地方自治法第92条の2では、燕市議会の議員は、燕市に対して、請負をする者及びその支配人・取締役・執行役・監査役・清算人たることができないと規定されているが、自治法でなぜこのことが必要なのか伺う。

答 地方公共団体の長や議員の公正な職務執行を担保するとともに、執行部側の事務執行の適正を確保するために設けられたものと理解している。

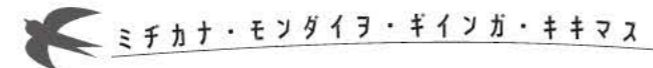
問 平成23年度以降今日まで、議員もしくは議員が役員をしている会社等に仕事を発注した件数と金額、会社の登記簿等について伺う。

答 平成23年度は2社で30件、金額で123万8698円、平成24年度は2社で42件、金額で786万4745円、平成25年度は2社で15件、48万6464円、平成26年度は2社で8件、35万7740円、平成27年度は現在まで1社で2件、9万8051円となっている。会社の登記簿等については、議員選挙の立候補届出



取り付けられたLED防犯灯

の職業欄から確認している。
問 LED防犯灯は、今後どのように管理するのか伺う。
答 器具以外の防犯灯支柱や電気接続線の破損等については、市の費用負担で、県中央電気工事協同組合から示された工事店にその都度依頼していくことになる。



ミチカナ・モンダイヨ・ギインガ・キキマス

固定資産課税及び農林行政、子育て行政について



白井文雄 議員(輝翔会)

問 固定資産税の課税について、家屋所有者に評価内容をきちんと知らせているのか。

答 2人1組で家屋調査を行っているが、調査を行った後で評価の内容を説明して確認している。

問 農林業に係る外国人労働者対策と木質バイオマスの利活用について伺う。

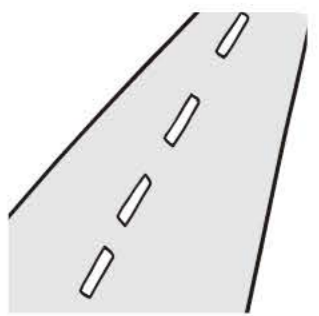
答 本市では農業に就労している外国人労働者はいないが、本市に居住して雇用する場合は、日本の労働基準法に照らし合わせて雇用することになる。また、木質バイオマスの利活用については費用対効果を考えると疑問があるが、今は弥彦村の調査を待つところだ。



問 育児に悩む母親も多いと聞く。育児相談体制の強化と、男性の育児休暇取得強化について伺う。

答 女性の育児相談の強化はもちろん、男性の育児も大切なことであることから、今後は、育児休暇の取得を積極的に取らせる環境づくりや、年休も取得しやすい環境をつくるようにしたい。

安全安心なまちづくりに向かって！



問 合併前の昭和40年〜50年代をピークに道路等の公共施設が整備されてきた。それらの施設は整備してから40年以上が経過し、年々老朽化が進み、直していかなければならない施設等が多く残されている状況にある。現状と今後の取り組みについては。

答 改善要望の現状は、5月末現在で道路施設は102カ所、排水施設は74カ所となっている。緊急性のある箇所については、予算を度外視して実施していくことは当然のことであるため対応していきたい。これに伴って予算が



堀 勝重 議員(輝翔会)

不足するが、一般財源を減らさない手法として、財源確保のために、全国市長会でも交付金の確保や補助金対象、採択要件を国や県に要望をしていく形になっている。議員も一緒になってという非常にありがたい言葉をいただいた。まさに車の両輪だと思ふ。
問 職員の時間外勤務の状況と対策は。
答 新潟市を除く19市中、少ないほうから7番目。平成26年度の時間外勤務時間数は多い者が806時間、不調を訴える職員は今のところいない。今後、コスト意識・管理職のマネジメント・適正な人員配置とともに、職員の健康管理に取り組みしていきたい。

燕市のさらなる魅力の発信を!



齋藤信行 議員(大河の会)

問 ヤクルトスワローズのキャラクター、つば九郎を2日間限定でつばめ市鳥に任命したことも、市役所の仕事に関心のある人を小中学生などに限らず、一日市長として任命し、市民と行政とが協働でまちづくりを進めてはどうか。

答 燕市の仕事や実態を体験・理解してもらつため、燕市では子ども広報において燕の仕事を経験する取り組みを行っている。これはメーキング映像を中心に、26年度の全国広報コンクールで総務大臣賞特選という部門での最優秀をい

ただいた子ども広報の取り組みである。また、PR大使という形で燕の魅力発信する取り組みをさらに拡充・充実させ、子どもたちなりに燕市のことを理解してもらい、また燕市の情報を発信することにも今後取り組んでいきたい。

問 来年度もチャレンジファーマー支援事業を続けるのか。予算はどうなるのか伺う。

答 チャレンジファーマー支援事業は、平成27年から29年までの3カ年事業として計画している。平成30年産米から大幅な米政策の見直しが見込まれており、3年間を一つのスパンと考えている。予算については、今後の状況を見極めながらお願いしたいと考えている。

問 選挙権年齢を18歳以上に引き下げる公職選挙法改正案が、国会で可決され、来年7月の参院選から適用されることになった。燕市では、高校生を含む未成年の有権者にどのような啓発を行うのか。

答 未成年者の選挙啓発については、選挙用具の貸し出しなど学校現場と連携した取り組みを毎年行っている。今後は、新成人と同様の選挙啓発パンフレットを送付し、周知を図りたい。

問 旧燕工業高校跡地の活用は市民の関心事である。福祉施設や住宅地造成などの要望はどういう過程で出され、周辺住民の意見を酌み取る施策を行なってきたか。

答 市内の検討委員会と議会からも一般質問の中で、意見・要望をいただいていた。事業者提案の審査過程で周辺自治会の会長に審査委員会に入ってもらい、意見をいただきたと考えている。

問 市と民間業者が連携して地域と当該エリアを一体的に整備するというが、地域ニーズの把握のために、周辺住民の意向調査を実施すべきではないか。

答 事業者提案制度でよりよいアイデアを出していただくため、縛りかけない形で期間を設けた。その後の検討委員会の中で、自治会長や市議会でのやりとりを通じて、よりよい計画にしていくやり方である。

問 教育・保育機能の充実と施設整備を一体的に捉えた環境整備が必要である。燕北幼稚園

答 各園から空調設備の改善や設置、外壁塗装の塗り直しや内壁、床の修繕等の要望が出されている。外壁の汚れの程度は各施設により違いがある。緊急性や必要性等で判断して、順次改修を進めていく。



「子ども広報」作成中



旧燕工業高校跡地

跡地利活用に地元の声はどう生かすか



宮路敏裕 議員(日本共産党)

燕市合併10周年を広く市内外にPR



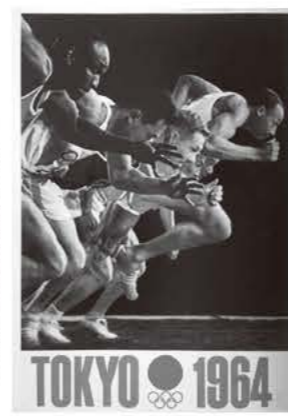
山崎光男 議員(流水会)

問 燕市には、市の木・市の花はあるが、市の鳥はない。合併10周年を記念して、市の名前でもある鳥「ツバメ」を正式に市の鳥に制定してはどうか。

答 市の鳥を制定するまでもなく、もう既に鳥のツバメが燕のイメージキャラクターであり、現状では市民の皆様から制定の声が上がっていないので、今のところ考えていない。

問 今年10月に開催される全国産業観光フォーラムのデザインギャラリーの中で、亀倉氏の作品コーナーを設けて展示し、広く紹介をしたい。

答 選挙権年齢を18歳以上に引き下げる公職選挙法改正案が、国会で可決され、来年7月の参院選から適用されることになった。燕市では、高校生を含む未成年の有権者にどのような啓発を行うのか。



1964東京五輪のポスター「スタートダッシュ」より

戸隠神社祭礼を登録無形文化財に



塙 豊 議員(スフロークラブ)

問 毎年5月の第3土日に挙行される祭礼は、萬灯のにぎやかなお囃子、踊りを先頭に行列、神輿に彩られた祭りは200年続くといわれる燕の旧市街地の一大イベントだが、旧市街地住民の高齢化、若者たちの市外流出など、祭りを取り巻く環境は厳しさを増すばかりである。戸隠神社の春季祭礼を文化財登録することは文化の継承ばかりではなく、旧市街地の活性化のための意識を改革することに繋がると考えるが、いかがか。

答 市内の祭礼行事は、それぞれ個性的で次世代に継承すべき燕の宝であるとともに、地域のきずなを深め、地域の活性化を図る大切な行事である。行事の担い手の高齢化や人口減少により祭礼行事に限らず地域の各種行事の継承が危うい状況であることは承知しているが、伝統行事の継承は地域の担い手の育成が第一と考えている。文化財登録は今後、燕市文化財調査審議会ですっかり議論したいと考えている。



戸隠神社祭礼



第73回を数える「おいらん道中」

問 燕市最大の観光イベントである「分水おいらん道中」は、合併前は15万人の人数があったが、合併後は10万人を割っている。何か考えていることはあるか。

答 平成26年度からは「つばめ桜まつり」として「おいらん道中」の2週間前から燕市交通公園や吉田ふれあい広場などでイベントを開催している。

問 「おいらん道中」は、近年全国各地で行われている。その数や内容について確認しているか。

答 数や内容についての詳細は確認していない。

おいらん役にNGTのメンバーを



タナカ・キン 議員(流水舎)

問 上越市の「謙信公祭」は、GACKTさんが謙信役をしたところ、それまで14万人台の観光客が20万人を突破している。有名人というのは集客力がある。現在、4人の「おいらん役」のうち、1人を女優にお願いしてはどうか。また来年であれば、この10月にAKBの新潟版NGTがスタートする。このメンバーの中から1人でも「おいらん役」をやってもらえたら、若い人たちにも大勢来てもらえると思うか。

答 有名人が「おいらん役」を務めることで若い人が来ると思うが、駐車場の確保や安全性のための警備など、いろいろな課題等々もある。アイデアについては、実行委員会の中で検討し、よりよい「おいらん道中」になればと思っている。

燕市消防団1,000名の力とまちづくり



小林由明 議員(輝翔会)

問 消防団員というのは非常勤の特別公務員でありながら、その実、生業をもつた住民である。彼らと防災に対する考えを共有し、取り組むことができるというの、大変に頼もしいことであると考えている。消防団員と、市の連携、意思疎通の重要性をどのように考えているか伺いたい。

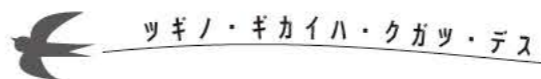
答 地域に密着し、市民の皆さんの安全と安心を守るという重要な役割を担っている消防団と、市との連携や意思疎通を図ることは重要なことであると考えている。



燕市では、約1,000名の消防団員が地域防災を担っている

問 消防当局と行われるさまざまな会議等において、消防団からも出席していただき、ともに企画運営で意見交換をするなど、市と消防団との直接的な意思疎通の機会を増やしていくべきではないか。

答 燕市は、消防団事務を燕・弥彦総合事務組合において、弥彦村とともに共同処理している。今後、燕市防災課・消防本部・消防団三者での会議の開催を提案してみたい。



交通安全対策と市民が願う安心感とは



山崎雅男 議員(輝翔会)

問 安全・安心を考えたとき、市が担うべき交通安全対策と市民が願う安心感を満たすためには、人命尊重の理念に立ち、自転車教室や高齢者交通安全フェアの開催や、今年から情報媒体を活用し、市民に交通安全思想を周知したい。

問 県央西詰幹線道路である地方道燕分水線の燕地区で信号機は7基設置されている。しかし、通勤・帰宅時に車の通りがある吉田地区田中・野本地域内には1基もない中で、横断歩道上での交通事故が発生した

答 安全・安心を考えたとき、市が担うべき交通安全対策と市民が願う安心感を満たすためには、人命尊重の理念に立ち、自転車教室や高齢者交通安全フェアの開催や、今年から情報媒体を活用し、市民に交通安全思想を周知したい。



田中・野本地内の県道

問 信号機が設置されていけば防げたのではないか。

答 平成25年から指針が施行されたが、地域住民の安全を第一に考え引き続き強く要望したい。

問 野本を通り田中入り口付近は40キロ制限の道路標示。すぐ先に横断歩道が2カ所ありスピードを出しやすい環境で交通事故の犠牲者が出る危険性が高いが。

答 横断歩道表示のダイヤモンドマーク、そして40キロ制限延長を市として要望したい。

問 避難所指定等、公共施設の利用度が高いトイレを洋式化するなどで施設利用が高まる。時代に即応した市民サービスも必要不可欠であるか。

答 避難所指定公共施設の洋式トイレは60%程度であるが、高齢者が集う施設を計画的に進めたい。

期日前投票所増設に向け、改善努力を

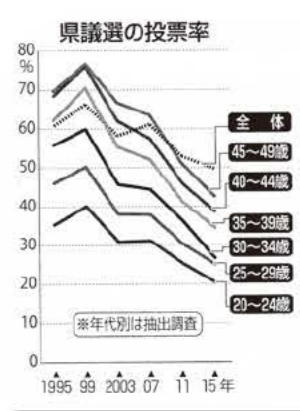


大岩 勉 議員(スワロークラブ)

問 教育振興対策としての少子化、学級数減少による教育環境はどうなのか。教育現場から教員不足との声はあるのか。児童生徒の携帯やスマホの所持率、またネットによるいじめ相談はあるのか。

答 小中学校の生徒数は減少しているが学級数は増えており、教育現場から教員の人数が増やし多様なニーズに応える教育が求められている。携帯電話やスマートフォンを所持している小学生は46%。中学生は67.5%である。ネットいじめに関する相談はない。

問 市内には治安や防災上の問題が懸念される空き家数はどのくらいあるのか。所有者に撤去や修繕勧告、命令された現状と解体費用補助制度について伺う。



問 平成25年の調査では67.8軒、そのうち48軒が管理不全の空き家であり、助言・指導書の送付、勧告書の送付を行い、解体補助制度も設けている。

問 合併後10周年にあたり、選挙の記録編集作成を行うべきではないか。市町村合併で期日前投票所数が減少し、投票率にも影響していることから改善が必要ではないか。ショッピングセンターなどの投票所も考えては。

答 ホームページに掲載してあり、冊子の発行は考えていない。期日前投票所は燕庁舎1カ所である。投票箱の管理方法や投票率への影響などの課題がいくつかあるため、整理し検討していきたい。

県央大橋西詰整備計画と 基幹病院

問

現在、県央大橋西詰整備計画が、11億〜13億円の予算で進められている。整備することを前提とし、日本総合研究所に委託して計画書がつくられ、道の駅や飲食店・物品の販売などいろいろな案も出されている。計画書や過程を重視する行政と結果を重視する市民との間に完成後に大きなギャップが生じるものと感じるが、計画どおりのにぎわいのエリアになるのか伺う。

答

基本計画の策定を9、2、4万円ですべて委託して専門的な見地から支援を受けている。地場産センターの道の駅構想と相乗効果



右側に産業史料館、道を挟んで左側に計画地



中山眞二 議員(輝翔会)

出しながら、エリアの地域資源を活用し、燕市の魅力にひかれ、訪れたい、応援したいと思う人を増やし、地域経済の活性化につなげたい。

問

県央基幹病院の完成を1日も早く願うとの答弁から1年。位置すら決まらず進展が見えないが進捗状況は。また、議会による運動は必要なのか。

答

平成28年度を目前に県が労災病院の移譲を受け、平成30年代の早い時期に基幹病院の開設に向け準備を進め調整するというアウトラインが26年8月に発表された。位置についても条件が付されており、県の選定作業を待っている。我田引水的な発言により5市町村の足並みのふぞろいを指摘されないよう留意している。

イツショニ・ツバメシノミライヲ・カンガエマセンカ

地域防犯の社会実験参加検討を



長井由喜雄 議員(日本共産党)

問

地域防犯の現状と課題について伺う。犯罪の抑止や見守りの手段として、市内の企業や事業所の協力のもとで抑止ネットワークができていくのではないかと私は考える。消防によると放火及び放火の疑いが、23年3件、24年14件、25年10件、26年7件発生し、地域としても大きな問題となっている。私は2005年の2月に群馬大学の藤井雄作先生が開発した「e自警ネットワーク」について視察した。現在のシステムを活かした「e自警ドアホン」を社

会実験として無償で提供される用意があると返答をもらっている。愛知県の尾張旭市では約80台のドアホンが社会実験として提供される中で地域を面とした防犯、見守りに取り組んでいる。これは大いに活用すべきでないかと思うがいかがか。

答 防犯活動団体・事業所は17団体あるが、役員の高齢化や人手不足が課題となっている。「e自警ネットワーク」については、プライバシーを厳重に保護した上で、防犯カメラで死角なく見守られた社会を実現することを目的としていると認識をしている。一方、燕市における防犯カメラの設置の考え方は設置していることを積極的に周知することにより、プライバシーに配慮しながら犯罪抑止効果を狙っているものだ。今後情報収集していきたい。



プライバシーに配慮されたe自警ドアホンの仕組み